

# コスモ石油株式会社

## 2002年度決算説明

2003年5月21日  
代表取締役副社長  
木村 彌一

単位：億円

	当期	前期比	単独	連結会社
● 売上高	19,028	▲ 890	1,174	▲ 284
● 売上原価	17,549	▲ 955	1,120	▲ 165
● 販管費	1,237	▲ 86	▲ 2	▲ 84
● 営業利益	242	▲ 21	56	▲ 35

売上高890億円増の主な要因

- 販売価格の上昇等による単独の増加 1,174億円
- 子会社の増収 100億円
- 連結処理 ▲384億円

販管費86億円減少の主な要因

- 合理化・効率化の実施および新規連結に伴う連結処理

連結会社営業利益35億円減少の主な要因

- コスモ石油ガスの減益 ▲16億円
- アブダビ石油の減益 ▲3億円
- 連結処理 ▲18億円

※主な子会社の業績(売上高・経常利益・営業利益・当期利益)は添付資料をご覧ください

単位:億円

	当期	前期比	単独	連結会社
営業利益	242	21	56	▲ 35
営業外損益	▲ 54	▲ 6	▲ 6	0
経常利益	188	15	50	▲ 35

営業外損益6億円減少の主な要因

	当期	前期比
●金融収支	▲110億円	0億円
●為替差益	+4億円	▲20億円
●持分法投資損益	+10億円	+7億円
●雑損益	+42億円	+7億円
営業外損益合計	▲54億円	▲6億円

連結会社経常利益35億円減少の主な要因

●コスモ石油ガス	▲16億円
●アブダビ石油	▲22億円

単位：億円

	当期	前期比	単独	連結会社
経常利益	188	15	50	▲ 35
● 特別損益	▲ 58	134	162	▲ 28
● 当期純利益	34	86	126	▲ 40

特別損益134億円改善の主な要因

	当期	前期比
● 投資有価証券の評価損の減少	▲46億円	109億円

連結会社当期利益40億円減少の主な要因

● コスモ石油ガス	▲7億円
● アブダビ石油(当社持分)	+17億円
● 持分法投資損益	7億円
● 連結処理	▲78億円

単位：億円

	当期末	前期末比
総資産	12,467	45

資産総額 4.5 億円増加の要因

手元資金の圧縮 3.12 億円

有利子負債の増加	1.40 億円
前期末休日の影響	3.68 億円
債権債務の増減	1.85 億円
その他	1.01 億円

売掛債権等 4.77 億円

売掛金・受取手形	1.46 億円
未収入金	3.31 億円

その他 1.20 億円

棚卸資産	5.8 億円
固定資産	1.03 億円
投資有価証券	7.5 億円

合計 4.5 億円

①前倒し調達による増加	277 億
②輸入金融による借入増加	156 億
③返済等	▲293 億

# 連結決算 キャッシュフロー

単位：億円

	当期	前期末比
● 営業活動によるキャッシュフロー	▲ 270	-
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 128	-
財務活動によるキャッシュフロー	101	-
期末のキャッシュ残高	438	▲ 302

## 営業活動によるキャッシュフロー

● 前期末休日の影響による揮発油税・石油税の支払い増 ▲368億円

揮発油税・石油税支払の影響を除いた実質のキャッシュフロー 98億円

## 投資活動によるキャッシュフロー

● 固定資産の取得・処分 ▲126億円

単位：億円

	当期	前期比
●売上高	16,809	1,174
売上原価	15,783	1,120
販管費	904	▲ 2
営業利益	122	56

売上高1,174億円増の主な要因

- 販売価格の上昇 691億円  
 26,370円/KL      前期比 +1,590円/KL
- 販売数量の増加 483億円  
 総販売数量 45,236千KL      +1,790千KL      前期比104.1%  
 内需燃料油 31,049千KL      +1,467千KL      前期比105.0%

	前期比
ガソリン	101.5%
灯油	109.0%
軽油	97.3%
A重油	112.8%
4品計	103.9%

	前期比
ナフサ	107.0%
ジェット	98.5%
C重油	107.4%
内需燃料油計	105.0%

単位:億円

	当期	前期比
売上高	16,809	1,174
●売上原価	15,783	1,120
販管費	904	▲ 2
営業利益	122	56

売上原価1,120億円増の主な要因

●原油価格などの上昇 673億円

24,210円/KL 前期比 +1,570円/KL

	当期	前期比
FOB(\$/BBL)	26.25	4.03
為替(円/\$)	122.39	▲ 1.67 (円高)
税込価格(円/KL)	23,448	2,885

うち総平均法による在庫評価の影響

〔 当期の影響  
前期の影響〕

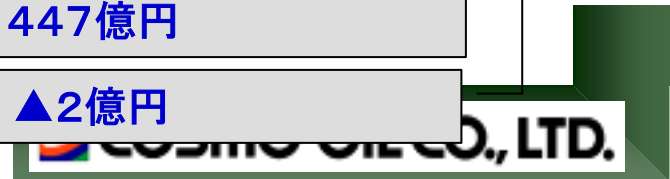
▲263億円(前期比、売上原価の減少)

173億円(原価の押し下げ)

▲90億円(原価の押し上げ)

●数量の増加 447億円

●販管費の減少 ▲2億円





単位:億円

	当期	前期比
営業利益	122	56
営業外損益	▲ 31	▲ 6
経常利益	91	50
特別損益	▲ 45	162
当期純利益	28	126

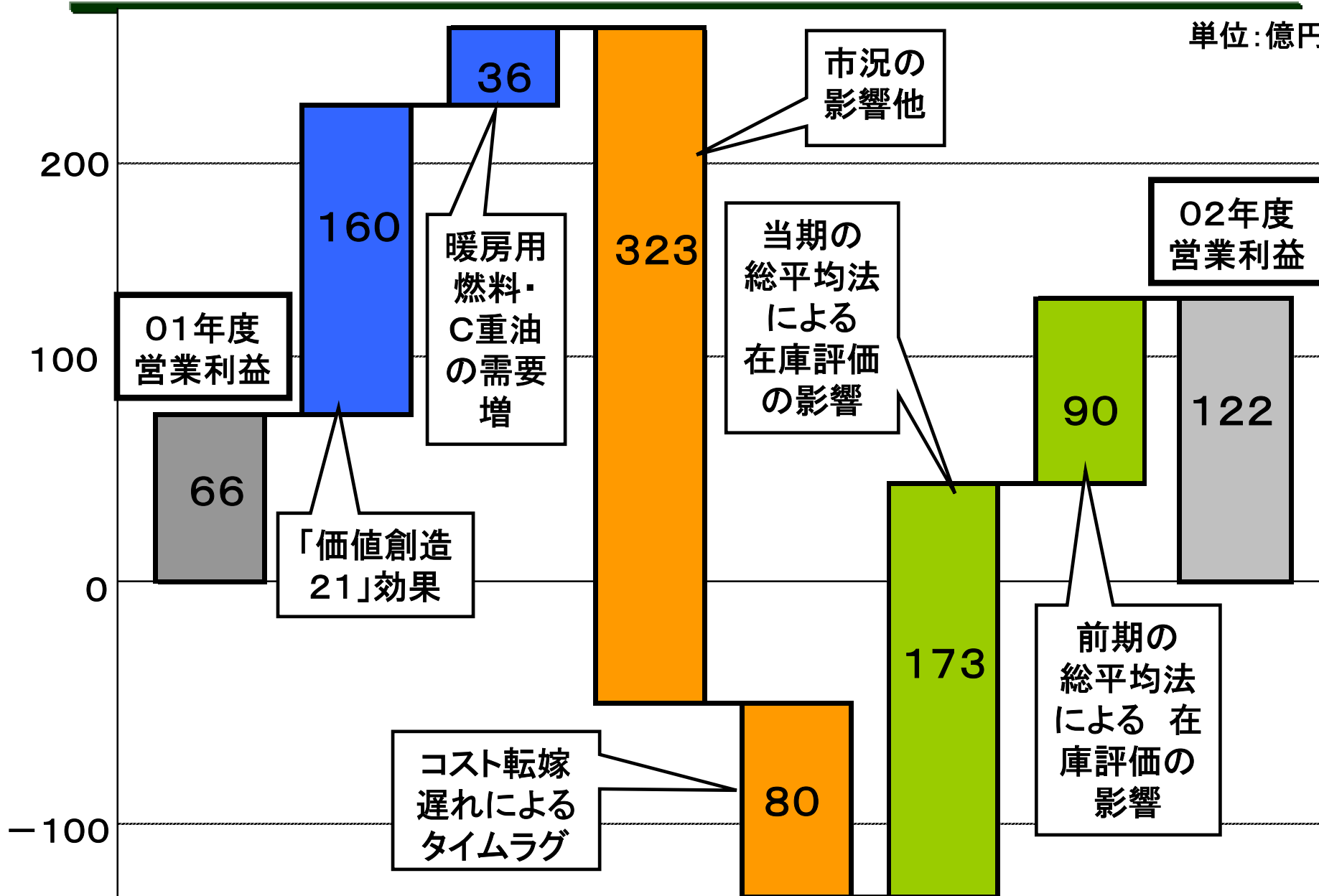
営業外損益 6億円減少の主な要因

- 金融収支の減少 ▲10億円  
関係会社配当金の減少など
- 為替差益 4億円

特別損益 162億円改善の主な要因

- |                 |       |       |
|-----------------|-------|-------|
|                 | 当期    | 前期比   |
| ● 投資有価証券評価損の減少  | ▲43億円 | 110億円 |
| ● 投資評価引当金繰入額の減少 | ▲ 2億円 | 40億円  |

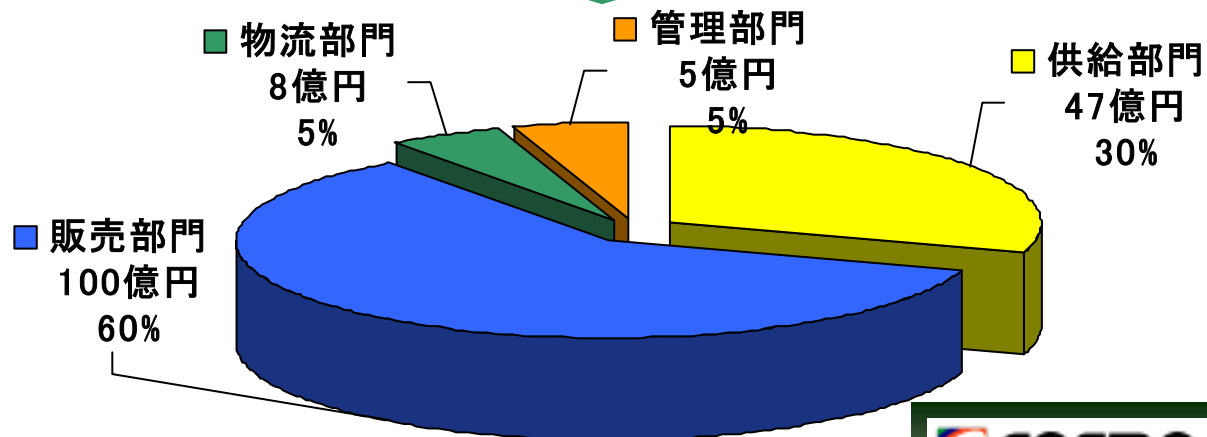
単位:億円



「価値創造21」効果160億円の内訳

<b>「価値創造」</b>	<b>118億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>26億円</b>
製油所の最適活用による付加価値UP	20億円
SCMの強化による最適な原油選択、 ヘッジ機能高度化	6億円
<b>販売部門</b>	<b>92億円</b>
リテールチャネル・直売強化 及びブランド料改善	83億円
カード収入増	9億円

<b>「合理化」</b>	<b>42億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>21億円</b>
VLCC用船料の低減	4億円
製油所の人員スリム化	6億円
その他経費の削減他	11億円
<b>販売部門</b>	<b>8億円</b>
人件費など経費の削減他	
<b>物流部門</b>	<b>8億円</b>
運賃の削減や油槽所の効率運用	
<b>管理部門</b>	<b>5億円</b>
人件費の削減他	



# 連結決算 2003年度業績予想

単位：億円

	中間期	通期	前期比
売上高	9,700	19,400	372
営業利益	105	310	68
経常利益	80	270	82
当期純利益	20	110	76

主要会社別 経常利益 業績予想	通期	前期比
コスモ石油単独	120	29
アブダビ石油	85	13
販売子会社	17	0
コスモ石油ルブリカンツ	9	1
コスモ松山石油	8	▲ 3
コスモ石油ガス	15	23
その他子会社	16	19
合計	270	82

単位：億円

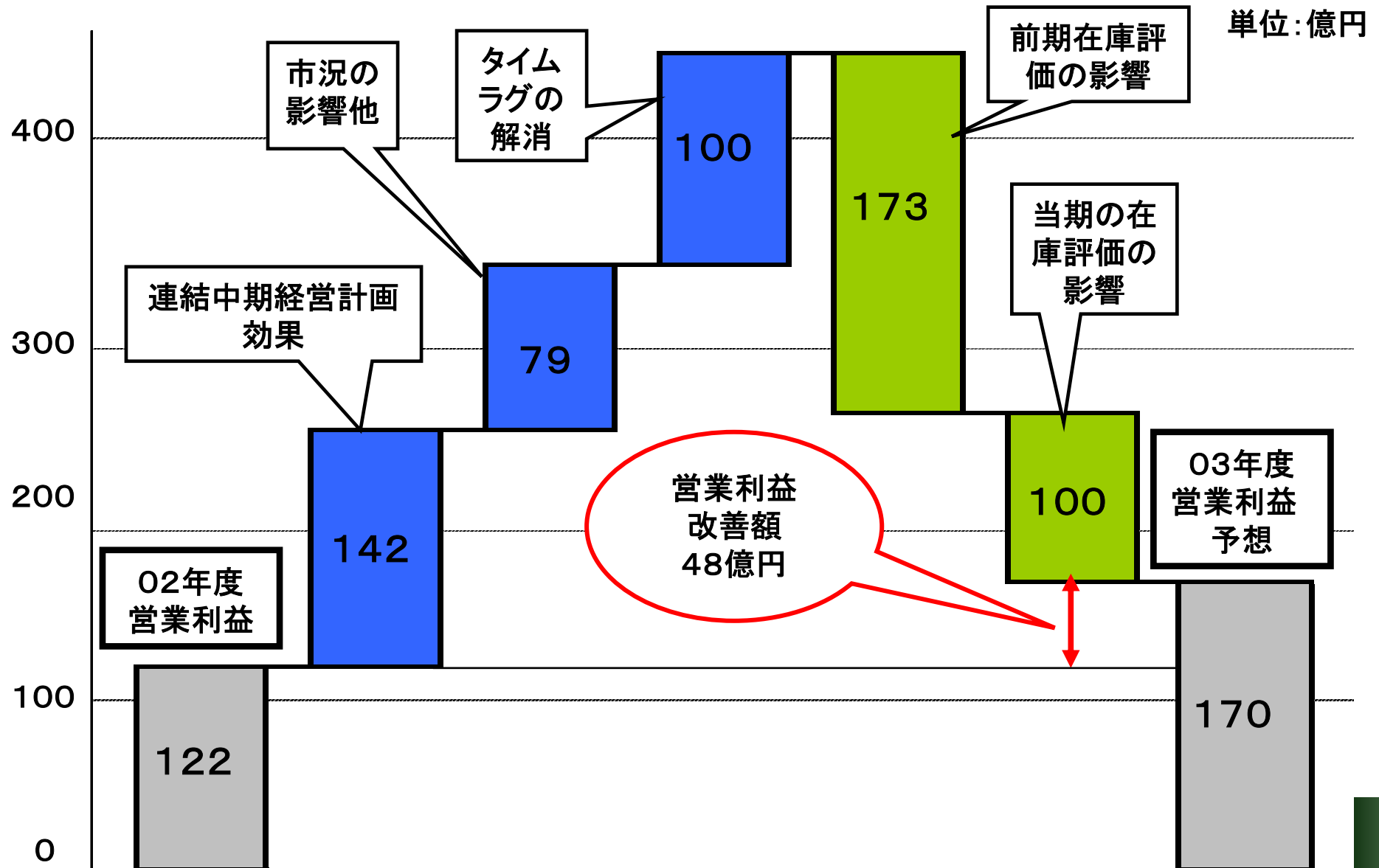
	中間期	通期	前期比
売上高	8,100	16,800	▲ 9
営業利益	35	170	48
経常利益	10	120	29
当期純利益	5	70	42

前提

- ①原油価格(FOB) 25.0\$ / BBL
- ②為替レート 120円 / \$
- ③販売数量(内需燃料油) 97.1%(通期)
- ④総販売数量 44,100千 / KL(前期比 97.5%)
- ⑤連結中期経営計画 142億円 / 年

**通期**

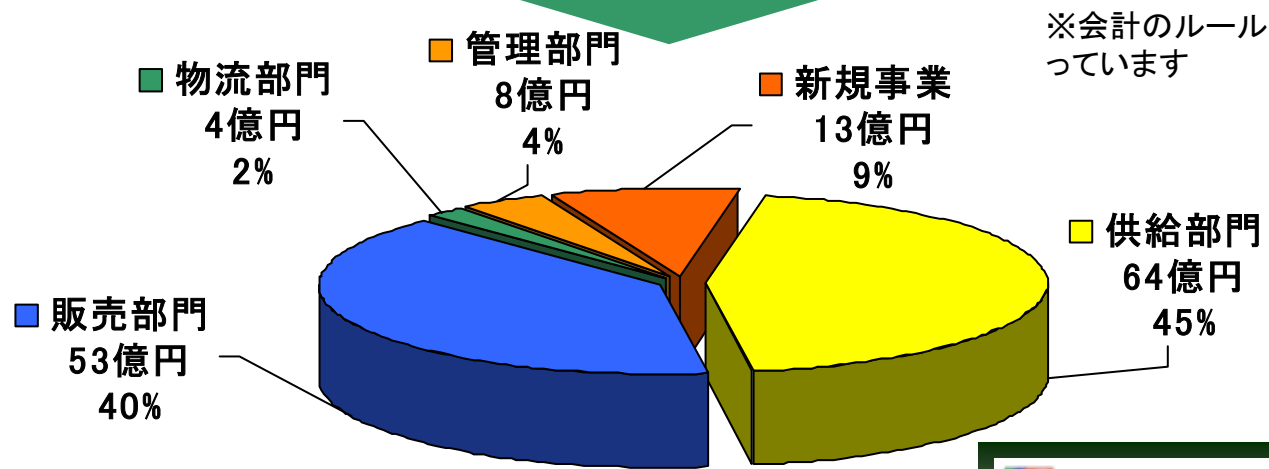
- 配当 6円
- 一株あたり当期純利益 11円08銭



「連結中期経営計画」効果142億円の内訳

<b>「価値創造」</b>	<b>70億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>17億円</b>
収益改善プログラム導入による付加価値UP	7億円
SCMの強化による機動的な需給運用	10億円
<b>販売部門</b>	<b>40億円</b>
リテールチャンネル・直売強化 及びブランド料改善	34億円
カード収入増	6億円
<b>新規事業部門</b>	<b>13億円</b>
IPP事業、ERPコンサル	13億円

<b>「合理化」</b>	<b>72億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>47億円</b>
VLCC用船料の低減	10億円
製油所の省エネ効果、保全費削減等	26億円
人員のスリム化	11億円
<b>販売部門</b>	<b>13億円</b>
人件費など経費の削減他	
<b>物流部門</b>	<b>4億円</b>
運賃の削減や油槽所の効率運用	
<b>管理部門</b>	<b>8億円</b>
人件費等の削減	



※会計のルールに従い各部門に割り振っています

# 補足資料①販売および原油の状況

販売の状況			
	当期	前期比	対前期比
総販売数量 千KL	45,236	1,790	104.1%
内 需燃料油 千KL	31,049	1,467	105.0%
内 マス数量 千KL	19,573	732	103.9%
マグナムレシオ	18.7%	▲1.0%	-
原油処理、価格、為替			
	当期	前期比	対前期比
受入原油代(FOB)\$/BBL	26.25	4.03	-
為替レート¥/\$	122.39	▲1.67	-
受入原油代(税込)¥/KL	23,448	2,885	-
原油処理量(自工場)千KL	28,310	1,059	-
中間四品得率	47.3%	▲0.7%	-



## 補足資料②人員数・油槽所数・SS数推移

16

### 人員数推移

	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末
石油	3,395	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837
グループ	6,103	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736

### 油槽所数推移

	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末
DT数	61	57	52	45	41	39	39

### SS数推移

	実績						計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/03末
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	970
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,050
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,020

### 上記のうち、セルフSS数

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/03末
社有	0	3	6	16	77	198	363
自己	0	2	2	7	32	87	87
合計	0	5	8	23	109	285	450

# 補足資料③02年度 経営成績・財務状況一連結決算

単位:億円

	当期	前期比	対前期比
売上高	19,028	890	4.9%
営業利益	242	21	9.6%
経常利益	188	15	8.8%
当期純利益	34	86	
	当期末	前期末比	
総資産	12,467	45	
株主資本	1,936	▲ 7	
株主資本比率	15.5%	▲ 0.1%	
有利子負債	5,626	140	
有利子負債比率	45.1%	0.9%	
	当期	前期	
内部留保	▲ 4	▲ 89	
減価償却費	228	235	
設備投資	241	255	
フリーキャッシュフロー	▲ 17	▲ 109	

※03年度の設備投資、  
減価償却費予想については、  
データブックP. 5をご覧ください

# 補足資料④02年度 経営成績－主要連結子会社

18

単位：億円

	前期	増	減	当期
連結子会社	24	3	0	27
持分法適用の子会社	9	30	2	37
持分法適用の関連会社	3	2	0	5

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
アブダビ石油	334	79	72	14
販売子会社	2,451	19	17	1
コスモ石油ルブリカンツ	296	8	8	4
コスモ松山石油	145	13	11	6
コスモ石油ガス	791	▲ 8	▲ 8	▲ 6
その他子会社	2,855	14	14	8
合計	6,872	125	114	27

注：当期利益は当社持分相当額です

# 補足資料⑤02年度 経営成績・財政状況－単独

	当期	前期比	対前期比
売上高	16,809	1,174	7.5%
営業利益	122	56	85.1%
経常利益	91	50	124.1%
当期純利益	28	126	－

単位:億円

	当期末	前期末比
総資産	10,816	▲ 112
株主資本	1,650	▲ 33
株主資本比率	15.3%	▲0.1%
有利子負債	4,970	120
有利子負債比率	45.9%	1.5%

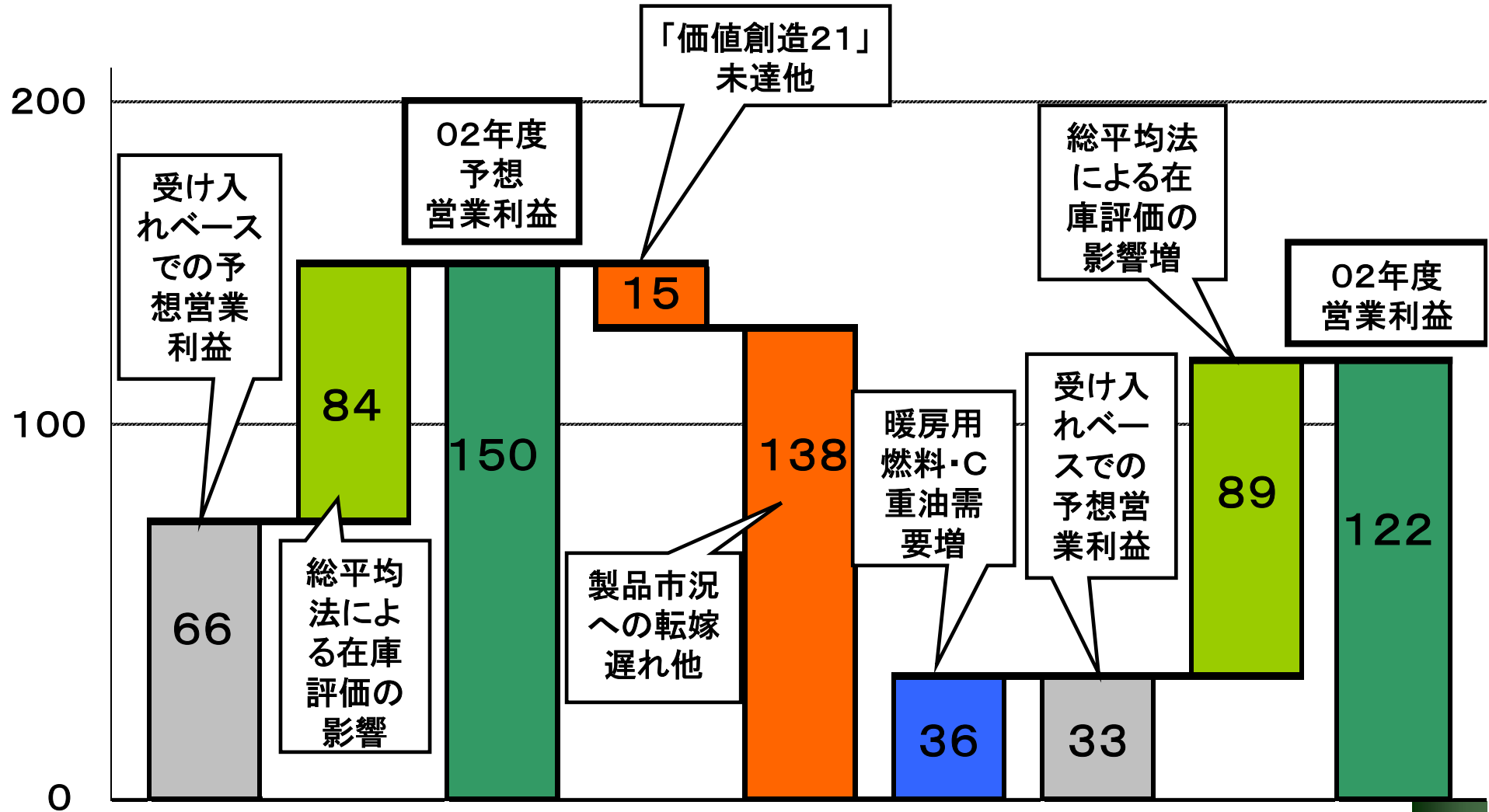
  

	当期	前期
内部留保	▲ 10	▲ 135
減価償却費	174	184
設備投資	196	212
フリーキャッシュフロー	▲ 32	▲ 163

※03年度の設備投資、減価償却費予想については、データブックP. 12をご覧ください

# 補足資料⑥ 中間決算発表時の業績予想との差異分析

単位：億円



### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。